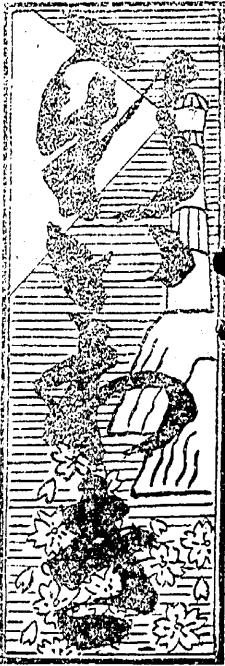


刊夕日七月十



常識講座  
八月十日 午後五時  
九月十日 午後五時  
十月十日 午後五時  
十一月十日 午後五時  
十二月十日 午後五時

魚のことフイツシンド  
と云へば魚のことだ洋  
食に云ふポイルドフイ  
ツシユはポイル（ゆで  
肉）の魚その調理は魚  
肉を鹽にし沸湯に入れ  
玉葱洋芹を加へたもの

鹿島村の救済工事  
去七日で完成  
石城郡鹿島村では七、八年度  
に亘る時局匡救事業に大字走  
熊を基點とし米田を經由し三  
澤に至る村道一哩餘の改修を  
竣功し其内千二百圓の工費を  
投じた三和橋も總鐵筋コンク  
リートで此程落成したので七  
日開通式を挙行したと

蘭は漸落  
平均三圓五十三錢  
四倉蘭市場に於ける昨六日の  
取引は降雨のため出荷薄で千  
五百三十五貫に過ぎなかつた  
相場は左の如くである  
最高三圓八十錢 最低三圓  
二十五錢 平均三圓五十三  
錢

境内植樹  
夏井村に於て  
石城郡夏井村では同村小學校  
御眞影奉安所境内に村内各種  
樹木の奉仕作業で樹木の寄附  
運搬中であるが来る十三日頃  
まづには植付を終る見込みで  
あると

正直の手に金返る  
小島の石炭行商  
石城郡内郷村の小島居住石炭  
行商矢吹文重郎さんは妻子五  
人の生活を支給共稼ぎで平町  
に石炭の行商をなし細い暮し  
を立てゝあるが珍らしい正直  
者で荷車を挽く行商の途上  
拾得するもの悉くを其筋に届  
出るので買員一同を感心させ  
てゐる過般は銀の煙管一個を  
同買保管満期で交付され今七  
日は昨年九月中宇新川町街路  
で拾つた現金一圓九十九錢を  
平署から交付され此の不景氣  
に有難い神のお授けだと喜ぶ

### 側溝工事の見榮から補装道路へ促進

希望はあるが工費負擔が難事  
本通だけで四萬三千圓  
平町本通り側溝工事は既に一、二丁目を完成し目下三丁目の工事で路面均しを済んだ如何にも都市らしい整つた薄形形の休載を見ては補装道路が欲しくなり町有志連は其の促進に奔走されてるが平土木監督所の假見積りによる大體豫算は一丁目から五丁目約三萬圓に達する見込みであるが、この路線だけは意氣込み次第によつて或は明年度にも實現するであらうと觀られてゐる

### 赤井の助役推薦争ひ 別人を選んで解決か

調停者が這入つて喧嘩両成敗  
石城郡赤井村が助役の満期改選で十二名の村議が二派に分れ此の程満期になつた吉田助役（豊）を再選し様とする草野一派に對し政友派議員並に草野氏に反感をもつ民政派の一派が前記吉田助役改選の際草野氏等のため敗戦した際松崎太郎氏を推さんとする多數に乗じて村長松本金治氏に推薦を強へてゐるが松本村長も草野氏と同腹で吉田豊氏を留任させ様と之れを容れない爲めに松崎太郎氏は村長不信任案を提出するといきまくなると去る八月初め満期となつた助役の椅子を断る紛争の爲めに明けて置くほど調停が嵩

### 平町壯丁の抽籤結果

平町に於ける本年の検丁成績は甲種合格三十三名であつたが抽籤の結果左記二十一名當籤した  
豊外歩兵採用長橋小野正二 歩兵豊外一 一番大工町愛澤 正長 同二〇 紺屋町松田一 二六番南町本間七五三吉 二八番田町佐藤勇治 三二番才前小路大河内寅男 三東北六縣に於ける各縣下町村

### 炭礦景氣で勞銀値上

十月から杉山と小野田炭礦で  
石城郡の各炭礦が需要期に接して活氣云ふばかりなく殊に先約物がなくて採炭直ちに右から左へ時價高に賣れる中小炭礦は昨今非常な馬力で採炭増加に努め左記二炭礦は此程勞銀の値上をなした  
杉山炭礦は杉山今朝吉氏の經營で目下男七三、女一一計八十四名を便役してゐるが去る二日から勞銀日給五錢乃至十錢を値上げした  
小野田炭礦は戸部光術氏の經營で目下四十八名の勞働者を使つてゐるが去る一日から勞銀九錢（一日）の値上げをした

### 平木炭検査支所は例年にならぬ検査高

酷暑期にも殖えてゐる奇現象  
九月も一割位増加の見込  
縣管に移つて四月目の平木炭検査支所に於ける去る九月の成績は目下集計中で詳細でないが前年同期に比し一割位の増加でないかと見られてゐる本年の奇現象は七、八月の暑期に於て會てない出荷を示し中央市場その他需要先の荷動きがよかつたので七月に於ては昨年の一割一分増十萬三百四十四俵を算し次に八月に於ては三割三分増の十二萬二千六百六十二俵に達した斯様な結果は農山村に對する時局匡救事業が製炭高を減じたものに加へ需要薄の夏期に於ける下値の底を逸がさす先き行き好景氣來を豫想したる商人の思惑もあつたらしく之

### 炭電の新規構築補助

農林省では山林救済の意味で  
農林省では山林救済の意味で昨年からは炭電製造業者に對し炭電補助を交付してゐるが本年も縣下に對して一萬九千圓を割當てられ一と電の構築費三十圓内外に四圓前後の同補助を給される譯で前年までは町村長の證明のみによつたものが今年には其町村を擔當する

### 豆腐賣り横領

石城郡平窪村の下平窪字屋越

### 遺傳の話

縣農試藤原石城分場長  
メンデルセルの獨立遺傳、遺傳法則の發見者としてのメンデルセルの遺傳學に對する今日では遺傳學に對するの方向も知られて居る程に通俗の一般にひろまつてゐる、グレゴールヨハンメンデル（西曆一八二二年生れ一八八四年逝去）は奧地利のブリューン今のチエツコスロバキヤのブルーノのケーニヒスクロイスター寺院の僧侶であつたが彼は二十九才から三十一才までウエンの大學に學んでゴッリンに這入り僧職の傍ら同地の高等實業學校に教鞭をとつて居つたのであるが此の教師時代に寺院の庭に於て豌豆の雜種の實驗をしたのである、

### 江名濱に大型漁船

又二隻出る  
石城郡江名町中の作漁業家遠藤勝馬氏は今回同縣金差造船所から九十五噸漁船明方丸を購し明八日未明處女漁に出航の筈であるが同漁船は民間發動機船では縣下第一の大船型なもので水試船警城丸に次ぐ遠洋航海の長期に堪える能力を有し一般から向後の活躍を期待されてゐる

### 五錢奉仕會募金

九月分（奉仕各位）  
金五錢 神長倉春造 金成忠 義 金成きみ 齋藤泰治 矢崎崎 金十錢 佐藤伊太郎 金六十錢 大嶺庫 佐藤榮吉 合計一圓五十五錢 累計十四圓五十錢（以上平廉民金庫現在預入額）

### 正直の手に金返る

小島の石炭行商  
石城郡内郷村の小島居住石炭行商矢吹文重郎さんは妻子五人の生活を支給共稼ぎで平町に石炭の行商をなし細い暮しを立てゝあるが珍らしい正直者で荷車を挽く行商の途上拾得するもの悉くを其筋に届出るので買員一同を感心させてゐる過般は銀の煙管一個を同買保管満期で交付され今七日は昨年九月中宇新川町街路で拾つた現金一圓九十九錢を平署から交付され此の不景氣に有難い神のお授けだと喜ぶ

